

花と実がどんどん生るインゲンマメ栽培

栽培のポイント

●良い根作りにはバクヤーゼ堆肥！

インゲンマメの根は湿度に弱いので、水はけの良い土作りが大切。水はけを良くするために完熟堆肥のバクヤーゼ堆肥、または硬質炭のバイオ健太くんを利用し、根が充実する環境作りをしましょう。

●チッ素の追肥はアミノ酸液肥のアミビタゴールド！

マメ科の中でもインゲンマメ（特にツルあり品種）は、チッ素施肥が多収穫のポイント。吸収消化の良いアミノ酸態チッ素を多く含むアミビタゴールドが、美味しいインゲンの多収穫にピッタリです。

●MリンPKで花質と実の品質向上！

重要なMリンPKの追肥タイミングは2回。開花始めと着莢開始期です。このMリンPKが良い花を付けること、実の肥大をスムーズにすることを助けます。着莢以降は水を切らさないような水管理を行ってください。



インゲンマメの施肥提案（1 a = 30 坪）

| 資材名 | 元肥 | 追肥① (開花始め) | 追肥② (着莢以降 2 週間おき) |
|-----------|----------|---------------|----------------------|
| 苦土入りMリンPK | 3 ~ 4 kg | 2 kg | 2 kg |
| バクヤーゼK | 4 5 kg | — | 4 ~ 6 kg |
| アミビタゴールド | — | — | ※ |

品質を高めるため、バクヤーゼKの代わりにアミビタゴールド 2 ~ 3 kgが利用できます。(追肥②はツルあり品種のみ)

根と樹勢の維持

樹勢を保つためにも根を健康に保つことが大切です。バイオ根助 500~1000 倍液で根の活力を維持しましょう。また、樹勢が弱くなるとアブラムシやハダニの被害が多発します。リーフアップN やリーフA 液材などの葉面散布材で樹勢を強化し、風通りと採光を良くするために、開花始め以降に混み合う葉を摘葉しましょう。



摘葉で通風・採用良し